

経営改善目標の達成に向けた取組状況

1 法人の概要（令和元年6月1日現在）

法人名	(公財) かながわ国際交流財団				
設立年月日	昭和52年2月15日	代表者名	理事長 高橋 忠生		
所在地	三浦郡葉山町上山口1560-39	電話番号	046-855-1820		
基本財産等	675,640,000 円	県出資額	165,000,000 円	県出資率	24.4 %

2 法人運営における現状の課題

県議会で表明された神奈川県立国際言語文化アカデミアの廃止に伴う一部事業の移管及び入管法改正に伴う国の「外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策」について、既存事業の整理を行い新たな事業の受け入れを可能とするための事業再編を行う必要がある。

3 経営改善目標の達成に向けた取組実績等

* 項目ごとに、下段の()内に目標を、上段に実績を記載してください。

【県民サービスの向上】

No.	項目	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	元年度 (2019年度)	2年度	30年度自己評価	
1	外国人向け生活情報「INFO KANAGAWA」配信件数	件	3,746 (3,080)	9,450 (3,260)	10,838 (3,440)	(3,620)	(3,800)	A	
	自己評価（目標未達の場合はその理由）			今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）					
	情報の内容を吟味しながら、着実に情報の配信を行うことにより、目標値の315%を達成し、登録者数が前年度に引き続き伸びた。効率的かつ効果的な運営ができています。								
	備考								
◆メール登録者数：8,610名（やさしい日本語 1,746名、中国語 1,178名、スペイン語 496名、ポルトガル語 336名、タガログ語 1,060名、英語 3,794名） ◆Facebookファン数：2,228名									

No.	項目	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	元年度 (2019年度)	2年度	30年度自己評価	
2	財団ホームページアクセス件数	件	405,340 (335,000)	435,765 (340,000)	504,724 (345,000)	(350,000)	(355,000)	A	
	自己評価（目標未達の場合はその理由）			今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）					
	コンテンツの充実と安定した更新により魅力的なホームページを運営することができており、目標値の146%を達成。前年度と比較して約69,000件のアクセス増。効率的かつ効果的な運営が順調に行っている。								
	備考								

No.	項目	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	元年度 (2019年度)	2年度	30年度自己評価	
3	高等学校への学習プログラム支援事業実施回数	回	26 (20)	22 (20)	22 (22)	(22)	(23)	A	
	自己評価（目標未達の場合はその理由）			今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）					
	講演会、ワークショップ、フィールドワークなどを実施し、目標数値を達成できた。事業の実施により高校生の視野が広がり世界の諸課題に関心を持つようになったり、将来の自分の進路や仕事の目標を考える契機となった。								
	備考								
◆高等学校への講師派遣による国際教育支援 16校（4,366名） ◆高校生対象青少年国際セミナー開催 1回 ◆高校生対象インターナショナルカフェ事業開催 5回									

No.	項目	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	元年度 (2019年度)	2年度	30年度自己評価
4	かながわフォーラム開催事業における外部団体・機関の新規参画数	団体	8 (5)	6 (5)	5 (5)	(5)	(5)	A
	自己評価（目標未達の場合はその理由）			今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）				
	企画を検討する段階から外部団体に参画してもらうことができ、フォーラム当日も充実したディスカッションを行い、参加者の満足度も高かった。今後は広報協力なども通し参画数を増やす。							
	備考							

【収支健全化に向けた経営改善】

No.	項目	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	元年度 (2019年度)	2年度	30年度自己評価
1	企業・団体等からの寄付金/HPのバナー広告受注獲得件数	件	28 (15)	38 (17)	22 (19)	(22)	(25)	A
	自己評価（目標未達の場合はその理由）			今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）				
	事業パンフレットの制作にあわせて、内容に関連する企業等に寄付や協賛金を募り、寄付者等のロゴを掲載するなどのキャンペーンを実施し、効果を上げた。							
	備考							

4 取組実績等についての総括（法人）

掲げた数値目標について、いずれも目標を達成することができた。各目標を担当する職員は、数値目標の達成と事業価値の向上の相乗効果を意識して取り組んだ。こうした実績を、財団の広報活動とも連動させながら、事業関係者や参加者からの関心を維持させたい。

5 取組実績等についての総括（所管課）

外国人向け生活情報「INFO KANAGAWA」の配信件数については、配信件数が10,000件を突破するなど、目標の3倍以上と大幅に上回っている。着実な情報配信により、メール登録者数も前年より約400名増加しており効果的な取組が実施されている。財団ホームページのアクセス数についても、コンテンツの充実などにより、500,000件を突破しており、順調な運営が行われている。

高等学校への学習プログラム支援事業については、昨年に引き続き高等学校への講師派遣、インターナショナルカフェなどを実施しており、次年度以降もより効果的な学習プログラムを実施していくことを期待したい。

企業・団体等からの寄付金/HPのバナー広告受注獲得件数について、事業パンフレットへのロゴ掲載などの取組により寄付や協賛金を募り、目標件数は上回ったが、前年実績は下回っているため、今後も件数確保に向けて取組を強化することを期待したい。

平成30年度は前年に引き続き全ての目標を達成しており、特に「INFO KANAGAWA」の配信件数、ホームページのアクセス件数ともに目標を大幅に上回っている。厳しい財源の中で最大限の効果が生まれるよう工夫しており、今後も効果的な周知活動等により、寄付や協賛金の件数を増やし、事業の効率化と収益の向上に取り組んでいくことを期待する。